

【No.766 2017/4 第4例会】

例会日：毎週金曜日
 例会場：碧海信用金庫本店3F
 安城市御幸本町15-1
 TEL：0566-75-8866
 FAX：0566-74-5678
 Email：anjo-rc19580206@katch.ne.jp
 HP：http://www.anjo-rc.org

第2912回例会

2017年4月28日(金) 12:30～13:30
 司会者：大見 宏君
 ソング：「いざ友よ」「四つのテスト」
 卓上花：カーネーション
 ニコボックス委員会：細井 英治君
 シモムラ コウシン
 ゲスト及びビジター：下村 幸真様 三河安城RC



2016-2017年度RIテーマ：
「人類に奉仕するロータリー」
 安城ロータリークラブ会長方針：
「地域社会に貢献し笑顔を共有しよう ～Let's smile together～」

- 会長：富岡 里美
- 幹事：戸谷 央
- クラブ会報：稲垣淳・磯貝廣治・山口佳久
- 創立日：S33年1月10日
- RI加盟認証日：S33年2月6日

■ 会長挨拶

富岡 里美会長

Let's smile together 地域社会に貢献し笑顔を共有しよう



ワンポイント アドバイス **蓮根(れんこん)**
 ビタミンC・食物繊維・カリウム・ムチン・タンニンを含む

効果アップが期待できる食べ合わせ

- ◆ 美肌・アンチエイジング：れんこん+アボカド、かぼちゃ、アーモンド
- ◆ 肥満防止：れんこん+人参、長ネギ、りんご、チンゲン菜
- ◆ 胃腸の働きを強める：れんこん+大根、白菜、かぶ、もやし、ミツバ
- ◆ 乾燥肌、のどの痛み：れんこん+人参、銀杏、豆腐、こんにゃく

タンニンなどによって胃腸に負担、食べ過ぎ注意



「輝」 自分磨きのライフスタイルの追及
 「新」 ～新しくなるまち、新しい出会い～

■ 幹事報告

戸谷 央幹事

1. 本日例会終了後、次年度クラブアッセンブリーを行います。
2. 4/29～5/7事務局お休みです。急用の方は戸谷幹事まで連絡をお願いします。
 次回の例会は5/12(金)、会議室にて11:00～
 新会員レクチャー・11:30～定例理事会、応接室にて
 11:00～定款細則検討委員会を行います。
3. 5/5-6は「砺波・金沢の旅」です。
4. 5/11(木)12:00～ 大会議室にて創立60周年記念事業準備委員会(昼食付)を行います
5. 5/19(金)例会の欠席予定の方は、5/16(火)12:00までに報告ください。
6. 5/26(金) **18:00～**すず岡にて次年度合同委員会を開催いたします。

■ 出席報告

岩井 春次君

会員	58名
出席義務者	44名
出席	44名
欠席	10名
出席免除者の出席	10名
出席率	81.48%
修正出席率	4月14日 第2910回例会 89.09%

- 第1分科会 会長 福田 雅美君
 第2分科会 親睦活動委員会 代読 副会長 神谷 研君
 第3分科会 広報委員長 恒川 憲一君
 第4分科会 社会奉仕委員長 辻 隆士君
 第5分科会 職業奉仕委員会 代読 幹事 成田 孝則君
 第6分科会 ロータリー財団 石川 義典君
 第7分科会 青少年奉仕委員長 亀島 深里さん
 第8分科会 米山奨学会 代理出席 杉山 淳一君
 第9分科会 入会3年未満新会員 大坪 久乃さん

■ 第1分科会 福田 雅美会長

私は第一文科会に出席いたしましたが、テーマは「クラブの持続的発展のために」というものでございました。まず、神野ガバナエレクトが地区計画について話をされました。

本会議の時に所信表明をされましたが、内容としては、すでに示されている『今日からのロータリーを楽しもう！』『奉仕を通じてロータリー活動に楽しみを見出そう』という方針にはじまり、行動指針として戦略委員会、名称はビジョン策定委員会でも何でも良いが、各クラブにおいて将来を考える委員会の立ち上げ要請、又、クラブと地区の行事への積極的参加とともに周りへの積極的働きかけが重要という話がありました。これはロータリーは世界的にはポリオ撲滅の様に良いことをやっている団体ということで知られているが、我々に近い地域社会の人々の認知度が低いというところからもっとロータリー活動を知ってもらう努力が必要であるということだと思います。

又、会員増強にも触れられ、どのクラブも新たな会員の加入があるが、一方で退会が多い。当地区も323名入会され、333名が退会で、結果としては10名減ということで、特に入会后短期間でやめてしまう割合も比較的多く、クラブ毎に魅力あるものにする努力をして欲しいという話でございました。最後に会長は「会長あいさつに命をかけるべし」という言葉がありました。その他には今年度ガバナー、地区幹事よりの話、さらに会員増強、危機管理、地区予算・地区資金、ロータリーの友についての話がありましたが、その中で地区資金に関するのですが、地区の収入の中で一般資金として会員一人あたり前後期で11,500円、特別資金として地区大会協力金の各目で9,600円、合計21,100円が予算立てされている訳ですが、本研修会の第一文科会にて次期クラブ会長の4分の3の承認においてというRI細則に基づき、この地区の賦課金の決定がなされました。

簡単に第一文科会の研修内容を発表させていただきましたが、この地区の方針も踏まえ次年度方針を考えていきたいと考えております。



■ 第2分科会 親睦活動委員長 小林 喜司男君 代読 副会長 神谷 研君

テーマ「ロータリーの楽しい過ごし方」

次期親睦活動委員長として、第2分科会に参加しました。

次年度の地区方針「今日からのロータリーを楽しもう！」を受けて

「ロータリーの楽しい過ごし方」というテーマで、以下の4名の方よりお話がありました。

1. 地区テーマとクラブ運営について① :大須賀 憲太 次期ガバナー補佐

地区テーマの「今日からのロータリーを楽しもう！」とは。

ロータリーは112年間持続してきた。しかし、それはクラブが会員の楽しみとならなければ持続、継続は出来ない。いい例会だったねと言われるように1年間、がんばって知恵を絞って楽しい例会にしてください。

2. 地区テーマとクラブ運営について② :平松 清美 次期研修実行委員会委員

「楽しんでいるな！」という海部ロータリー(79人)の紹介がありました。趣味の会が12個も有り、みんな楽しんでいる。

3. ロータリーのクラブ奉仕とは① :早川 和男 次期地区研修実行委員会委員長

毎週の例会が大事。照明の明暗を工夫する。音楽を工夫する、例会の場所を変えるのもいい。

1年、知恵を出し、あの手この手で楽しくしてください。

4. ロータリーのクラブ奉仕とは② :村井 総一郎 ガバナーノミネー

クラブ奉仕とは、「出席したくなるような例会をつくる」こと。

歌は親睦の出発点、童心に返るということで、春日井RCでは「瀬戸の花嫁」や「津軽海峡冬景色」を流している。

・最後に佐々木 2018-19年度地区幹事(豊橋RC会長)より、

クラブ奉仕にルールは無い。独自の考え、スタイルで1年間やってくださいと講評をいただきました。

今回、親睦活動担当という立場で研修を受けて、当クラブを少しでも楽しいものにしていけるよう1年間やってまいります。



■ 第3分科会 広報委員長 恒川 憲一君

次年度地区公共イメージ向上に向けて

地区ビジョンとして神野ガバナーエレクト曰く、10年後も、20年後も地区の輝きが持続可能であること。を掲げるを元に始めました。さて2020年に日本ロータリーが誕生して100年になるというのに、ロータリーを知っている人が20%、名前は知っている40%、聞いたことがない人が40%という認知度の低さに加え、ロータリーのよくないイメージとして、年配者、排他的、自分たちとは異なるとの意見、また実際、どこかの社長がホテルで美味しい食事をしに行っている、さらにうちのパパってロータリーで何をやっているのだろう？そんな程度が一般の実際の認識です。

アイサーブだけで満足してはいけません。IT促進のマイロータリー登録や地区HPを一般にもわかりやすく改訂、重要なのは今まで苦手であったマスメディア対応、地区には60以上の新聞社、テレビ局などあり、積極的に情報提供していきます。いかに話題性にある企画でニュースに取り上げられるか、効果的なプレスセミナー、ニュースリリースが必要です。(WWFもマンネリ気味、さらに取り上げられても寄付、支援のことは報道されていない)今年度の広報委員長の使命として、我々ロータリー活動がどんな良いことをしているかを、伝え、興味を持っていただき、皆様や家族の理解を高め、ひいては会員増強に繋がり20年後も輝くロータリーに向け努力する所存であります。



■ 第4分科会 社会奉仕委員長 辻 隆士君

テーマ: ロータリーの活動情報を伝える。

社会奉仕活動に関する愛知県の情報を伝える。

次期社会奉仕委員長として、第4分科会に参加しました。

ロータリーの活動情報を伝える、社会奉仕活動に関する愛知県の情報を伝えるというテーマで、杉浦委員長から挨拶、委員会説明があり副委員長より社会奉仕・RCC・環境保全の3項目について研修が進められました。

社会奉仕につきましてはロータリーの原点、地域に根差した各クラブの社会奉仕活動の紹介や、時代に合ったこれからの社会奉仕活動のあり方などの説明がありました。

次にRCCにつきましては、当クラブの内藤教恵副委員長よりパワーポイントを使った各クラブでのRCCの試みの紹介がございました。

RCCは、地元の人々をロータリーの奉仕活動の輪の中に巻き込んで、共に行動します。クラブの確固たる存在を地元住民にアピールする最良の方法となります。各クラブでのRCCの提唱をお願いしますというご説明でした。

環境保全につきましては地区としての試みなどの説明がございました。

今回、社会奉仕担当という立場で研修をうけて地域貢献に少しでも繁栄していけるよう研鑽してまいります。



■ 第5分科会 職業奉仕委員長 市川 護君 代読 幹事 成田 孝則君

はじめに、「職業奉仕について、活動の一部を行わない。」

こんなことを地職業奉仕委員会の方より、報告が有りました。

卓話の例会に地区から出ないと言うことです。

事由は今年度ロータリーの友1月号に職業サービスを考える。

今年度ロータリーの友4月号に職業奉仕職業サービスを考える。

このことで、活動が出来ないとのことでした。

ディスカッション

各地区でそれぞれどのような例会が行われているのか、報告されました。

各会社を周る、見学会を行う。各社のビデオレターを作成し例会で報告する。

移動する時間をかけず、いい例会づくりかと感心しました。

更に中学2年生を対象とした、職業授業を展開している所も有り、会員内外に貢献している事を知りました。

データ

今までの活動で、職場訪問(見学会) 49% 卓話例会 38%

優良従業員表彰 10% その他3% の、

職業奉仕が、行われていますが今後の動向が分かりません。

微妙ですが、サービスと奉仕活動は違うと言うようなことらしいでした。

この中で、職業奉仕とは何かを考え行動してまいります。



■ 第7分科会 青少年奉仕委員長 亀島 深里さん

【2017-18年度青少年奉仕関連委員会】

1. 青少年奉仕委員会 岡田雅隆次年度委員長(犬山RC)

・2017-18年度神野(かみの)ガバナーの掲げる行動指針の一つ

「ロータリーファミリーとの連携強化」を受け、次年度テーマ「青少年奉仕活動をより良く理解し実践しよう」

2. インターアクト委員会

3. ローターアクト委員会

4. RYLA委員会

5. 青少年交換委員会

6. 危機管理委員会

【2017-18年度 当クラブに関わる3委員会】

1. インターアクト委員会 佐藤裕彦次年度委員長(豊橋RC)

・インターアクトクラブは、

高校・高専を母体とし各学校の部活動の一環として活動

・当地区提唱ロータリークラブは30クラブ

・当地区インターアクトクラブ数は17クラブ

・当地区インターアクトクラブ活動会員数は551名

・安城学園高等学校の活動会員数は2017年2月1日現在41名

・現在、120以上の国や地域において25万人以上の青少年が活動

・当地区には大変珍しいクラブ、広域コミュニティーを主体とした

「名古屋インターアクトクラブ」がある

・名古屋YMCAを母体として活動

・提唱クラブは名古屋RC

2. RYLA委員会 竹内幹尚次年度委員長(豊川RC)

・RYLAとはRotary Youth Leadership Awards

(ロータリー青少年指導者養成プログラム)の頭文字をとった略称

・当地区の対象年齢は、16歳～30歳まで

・地区は毎年、RYLAセミナーを開催

・次年度テーマ「心の燈(ひ)をともしよう」

・「RIIは、2009年度よりRYLAセミナー対象年齢構成を、14～18歳・19～24歳・25～30歳とし加えてIA・RAを是非参加させることが

望ましい」との奨励事項

・RYLAセミナー受講修了生はRYLArian

・RYLArian(20～30歳まで)の中から、日本RYLAセミナーへ派遣、開催予定は神戸地区

・またリーダーシップを身につけようと意欲のある若者を2名程度選考し、アジアパシフィックRYLAへ派遣

・RYLArianは、ロータリーの輝く団体RYLA学友会会員

「18歳以上(大学入学以上)～40歳未満」活動を続けることができます ※ローターアクトは18歳～30歳まで

3. 危機管理委員会 神戸邦夫次年度委員長(豊橋南RC)

(第1分科会で黒田勝基次年度青少年奉仕委員(高浜RC)がご紹介)

・当地区は、毎年「危機管理総則」を見直し作成しRIIに承認を受け、この条件を毎年クリアすることにより、青少年交換プログラム(受け入れ、送り出し)が実施可能となります

・2017-2018年度(神野年度)から「危機管理基金」として予算化

・青少年交換プログラムのみならず、ロータリー活動全般が対象

・報告対象は、ロータリー事業を進める中での関係する者の事件・事故・ハラスメント(部外者とかかわること全般)

1)いつ

2)どこで

3)誰が

4)何をしたか

5)その結果

6)どのような処置

7)どこまでの対応

8)関係する事業内容

9)その事業の責任者

(例)WFFでお手伝いに来ていた青少年(IA,RAなど)がケガをした



■ 第9分科会 入会3年未満新会員 大坪 久乃さん

地区研修協議会、第9分科会(新会員研修部門)に参加してきましたのでご報告させていただきます。テーマは「ロータリーをもっと知って楽しもう」でした。

まず1つ目に「ロータリークラブの会員とはどのような人か」という問いに、自ら従事している職業が所在する地域社会の中で役に立つ、ためになるものとなるよう日々研鑽努力している人たち。2つ目に「ロータリークラブは何をしているのか」

地域社会の中で役に立つ、ためになるものとなるよう日々研鑽努力している人々が、交流することによりお互いの研鑽を行う場として例会を開催している。

また、その人たちが一体となり地域社会・世界が必要とする事に応える活動を行っている。

3つ目に「ロータリーとは」1つ目2つ目のような人々やクラブの国際的ネットワーク。



クラブを活性化させるため社会の縮図がクラ図の中にあってほしいという点から、女性会員を増やしたい。

社会の半分以上が女性で構成されているので女性特有のニーズ・切り口・発見などを取り入れていきたい。

社会の人々がロータリーに親近感を深めることができるよう、社会に好ましい変化をもたらす活動を積み重ね、会員の参加・目的意識・活動を促すための土台を築く。

それぞれの地域社会にふさわしい告知活動を展開する。地域と共にあるよう、クラブ・地区・ロータリーそのものがやっている事でも、切り口や方法を変えると違うロータリーが見えてくる。「宇宙飛行士のことば」で最初の一日は祖国しか見えなかった。次の日には祖国がある大陸が見えるようになった。三日目には青い地球だけか目に入らぬようになった。

これをロータリアンの視点に置き換えてみると、初めはクラブしか見えなかった。クラブ役員の視点、クラブが属する地区の姿が見えるようになった。地区役員の視点、世界のロータリーが見えるようになった。新会員も1年後こうなろう、こうしようと毎日・毎週・毎月を思って過ごしていくと見えてくるものが違うのではないか。

例会出席が原理原則。メーキャップも活用し是非他のクラブにも参加してください。

ロータリアンにNOはないとよく言われますが、それを押しつけとらえるのではなく、与えてくれる出会い・チャンスととらえ、いずれ喜びとなって帰ってくるよう何事にも挑戦していく事が大切。

「今まで通り」に過ごしても、「目標を定め変化に挑戦」しても1年は同じ365日。

是非ロータリライフを楽しみましょう!!

という研修内容でした。

第6分科会



ロータリー財団 石川 義典君

第8分科会



米山奨学会 代理出席 杉山 淳一君